

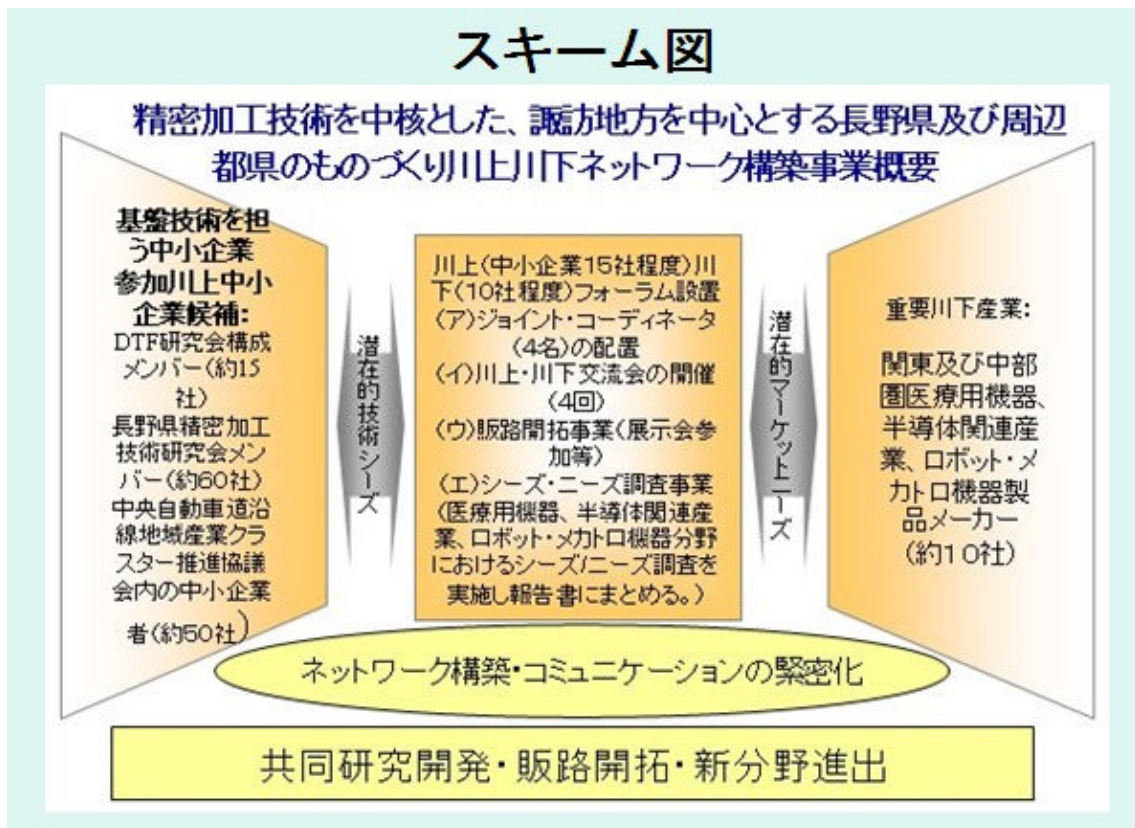
平成21年度 川上・川下ネットワーク構築事業
成果報告書

委託法人名 (代表者名)	社団法人 長野県経営支援機構	所在地	長野県長野市南長野幅下 667-6 長野県土木センター5F
契約名 (テーマ名)	精密加工技術を中核とした、 諏訪地方と周辺都県の川上川下ネットワーク構築事業		

1. 委託業務の概要

本事業は、医療・福祉用機器、半導体関連産業、ロボット・メカトロ機器製品メーカー（川下）と、関連する要素部品等の製作技術力を持つ、諏訪地域及び周辺都県の中小企業の交流の場を提供し、参加する中小企業の取引機会の増加を支援し、川下側との共同研究のきっかけや技術開発の有効性を高める。また、参加する中小企業の新分野進出のヒントを得る機会とすることを目的として実施した。

(概要図)



※1 フォーラム構成企業者数及び企業者名（川上）

川上中小企業者	川上中小企業者数	川上中小企業者・団体名
	9社	エンジニアリングシステム株式会社 株式会社KEC 株式会社小松精機工作所 セラテックジャパン株式会社 株式会社ダイヤ精機製作所 高島産業株式会社 野村ユニソン株式会社 株式会社平出精密 株式会社みくに工業 (五十音順)

※2 フォーラム構成企業者数及び企業者名（川下）

川下企業者	川下企業者数	川下企業者・団体名・有識者名
	7社	長野日本無線株式会社 横河電機株式会社 株式会社リコー (五十音順) 他に、C社、H社、M社、T社 よりニーズの提示を頂いた。

2. 事業実績

(1) フォーラム開催実績（内部検討委員会および外部イベント）

① 内部検討委員会

フォーラム名等	参加企業		参加数	開催日	開催内容
	川上企業	川下企業			
第1回川上・川下フォーラム設置事業打合せ	件数無し	件数無し	10名	平成21年7月29日	実施計画書に従い事業内容の説明を行う中で、各イベントの実施時期・実施方法について確認を行った。 参加者が担っている、ジョイントコーディネータ他の役割について確認を行った。 また、ニーズを開示頂ける川下企業の勧誘と、対応できる川上企業の勧誘方法について打合せを行

					った。
第2回川上・川下フォーラム設置事業打合せ	件数無し	件数無し	6名	平成21年8月31日	4回実施する予定の交流会の目的、関連性の確認を行った。 9月実施予定の第1回交流会の準備状況と、進行計画について打合せを行った。
第3回川上・川下フォーラム設置事業打合せ	件数無し	件数無し	8名	平成21年9月19日	第1回交流会事業に関する振り返りを行った。 これをふまえて、翌月実施予定の第2回交流会の準備と当日スケジュールについて、打合せを行った。併せて、交流会事業一連の活動の中で、第3回交流会（事業所見学会を含む）についても主旨の再確認を行った。 また、その他のイベントについても大日程の確認を行った。
第4回川上・川下フォーラム設置事業打合せ	件数無し	件数無し	7名	平成22年1月5日	第4回交流会開催に関する準備状況と当日の進行予定の確認を行った。 また、今年度事業の振り返りについて、出席者で討議を行った。

② 外部イベント

フォーラム名等	参加企業		参加数	開催日	開催内容
	川上企業	川下企業			
件数無し					

(2) セミナー・勉強会開催実績

セミナー名等	実施日	検討課題（テーマ名）	参加企業	
			川上企業	川下企業
第4回交流会において実施したセミナー	平成22年1月26日	1. 「自動車産業における技術動向」 2. 「中小企業における知財管理の必要性」	8名	件数無し

(3) 交流会開催実績

セミナー名等	実施日	検討課題（テーマ名）	参加企業	
			川上企業	川下企業
第1回交流会	平成21年9月11日	発表会形式により、川下企業4社のニーズに関する情報と川上企業のシーズ情報の説明を行った。この川下企業のニーズに対する川上企業の具体的マッチングを行った。 また、川上企業のシーズを紹介し、川下企業のニーズ喚起を行った。 その後、川上企業が席を構えて、川	エンジニアリングシステム株式会社 株式会社KEC 株式会社小松精機	横河電機株式会社 株式会社リコーT社

<p style="text-align: center;">交流会実施までの活動</p> <p style="text-align: center;">川上候補集団の把握と川下ニーズ獲得 川上参加者募集 交流会の実施</p> <div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="width: 30%;"> <p>川上側として、長野県及び周辺郡県の中小企業において、かねてより技術力の研鑽に取り組むグループを把握</p> <p>川下側として、医療・福祉用機器、半導体関連産業、ロボット・メカトロ機器メーカー等へアプローチして、具体的ニーズを掘り出す</p> </div> <div style="width: 30%;"> <p>川下企業ニーズに見合うこと</p> <p>精密加工技術力の研鑽に努めていること</p> <p>本事業の主旨に賛同し、積極参加</p> </div> <div style="width: 30%;"> <p>具体的引き合い検討の場を提供する</p> <p>新たなニーズを喚起する、情報交換の場を提供する</p> <p>人的交流の場を提供する</p> </div> </div>  <p style="text-align: center;">交流会時発表の様子</p>	<p style="text-align: center;">下企業との個別商談会を行った。</p>	<p>工作所 セラテック クジャパン 株式会社 株式会社 ダイヤ精 機製作所 高島産業 株式会社 野村ユニ ソン株式 会社 株式会 社 平出精密 株式会 社 みくに工 業 (五十音 順)</p>		
<p>第2回交流会</p>	<p>平成 21 年 10 月 16 日</p>	<p>川上企業と川下企業の交流を促進するため、地域で開かれる展示会（諏訪圏工業メッセ）を活用した。諏訪圏工業メッセは、10月15日から3日間、地元諏訪市で開催された。主催者発表では出展社数 252 団体、来場者数 23,950 人であった。この展示会において当機構のブースを構え川上企業と川下企業の交流を喚起した。</p>	<p>エンジニア リング システム 株式会 社 株式会 社 KEC 株式会 社 小松精 機 工作所 セラテ ック クジャ パン 株式 会 社 株式 会 社 ダイヤ 精 機 製 作 所 高島 産 業 株式 会 社 野村 ユニ ソン 株式 会 社 株式 会 社 平出 精 密 株式 会 社 みくに 工 業 (五十音 順)</p>	<p>横河電機 株式会 社 長野日 本無線 株式 会 社 M社</p>
 <p style="text-align: center;">当機構ブースの様子</p>  <p style="text-align: center;">川上企業ブースでの商談の様子</p>				

<p>第3回交流会</p>	<p>平成 21 年 11 月 20 日</p>	<p>川上企業と川下企業の交流を促進するため、地域で開かれる展示会(山梨テクノフェア)を活用した。 山梨テクノフェアは、11月19日から3日間、甲府市で開催された。主催者発表では出展社数122団体、来場者数12,100人であった。今回は、前回の反省をふまえ、ブースが目立つようにのぼり旗や動く装置などで飾り付けを工夫した。 当機構のブースにおいて、展示品やシーズ調査票により川上企業と川下企業の交流を喚起した。</p>	<p>エ ン ジ ニ ア リ ン グ シ ス テ ム 株 式 会 社 株 式 会 社 K E C 株 式 会 社 小 松 精 機 工 作 所 セ ラ テ ッ ク ジ ャ パ ン 株 式 会 社 株 式 会 社 ダ イ ヤ 精 機 製 作 所 高 島 産 業 株 式 会 社 野 村 ユ ニ ソ ン 株 式 会 社 株 式 会 社 平 出 精 密 株 式 会 社 み く に 工 業 (五 十 音 順)</p>	<p>件数無し</p>
<p>当機構ブースの様子</p>				
<p>第4回交流会</p>	<p>平成 22 年 1 月 26 日</p>	<p>上記のセミナーを実施すると共に、今年度の事業の振り返りを行った。当日参加できない川上川下企業には事前にアンケート又は聞き取りにより意見の聴取を行い、当日の話題に加えた。</p>	<p>株 式 会 社 小 松 精 機 工 作 所 株 式 会 社 ダ イ ヤ 精 機 製 作 所 高 島 産 業 株 式 会 社 野 村 ユ ニ ソ ン 株 式 会 社 株 式 会 社 平 出 精 密 株 式 会 社 み く に 工 業 (五 十 音 順)</p>	<p>件数無し</p>
<p>交流会の光景</p>				

(4) シーズ・ニーズ調査実績

当事業によるシーズ・ニーズ調査結果を

「精密加工技術を中核とした、諏訪地方と周辺都県の川上川下ネットワーク構築事業 シーズ・ニーズ調査報告書」としてまとめた。その要旨は以下の様である。

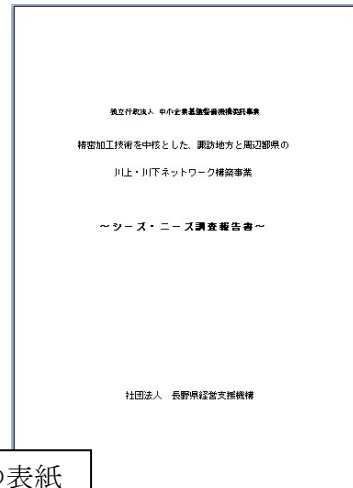
第1章では、参加した諏訪地域の精密加工技術をもつ川上企業のシーズ特性をまとめた。

第2章では、参加した周辺首都圏を含む川下企業のニーズ傾向を精密加工技術の応用分野に広げて、現在のニーズ特性と今後の展望についてまとめた。

第3章では、当事業の実施事例と評価について三つの事例を紹介した。はじめに、狙いの川下企業より具体的引き合い取得し、該当する川上企業とのマッチングを行う事例、次に事前に狙いの川下企業よりニーズ情報獲得に努め、展示会に相乗りして対象川下企業の希望に従い、該当する川上企業を展示会の中で引き合わせる事例、最後に川下企業工場の見学を通じたマッチングの事例を紹介している。

第4章では、マッチングに関する提言として、当機構がコーディネーターとして果たす役割、特に技術の「目利き」と「つなぎ」を一人二役で果たすことの重要性について述べている。

今後この報告書を、参加した川上企業のPRを含めて、中小企業の支援機関等に配布して、こうしたマッチング事業の参考に供したい。



完成した報告書の表紙

(5) 販路開拓実績（展示会や商談会など）

展示会・商談会 名称等	参加企業		開催日	開催場所	開催内容・検討課題等
	川上企業	川下企業			
諏訪圏工業メッセ	エンジニアリングシステム株式会社 株式会社KEC 株式会社小松精機工作所 セラテックジャパン株式会社 株式会社ダイヤ精機製作所 高島産業株式会社 野村ユニソン株式会社 株式会社平	横河電機株式会社 長野日本無線株式会社 M社	10月15日から3日間	長野県諏訪市	①川上企業のシーズ紹介 ②川上川下ネットワーク構築事業の紹介 ③長野県経営支援機構のPR ④川下企業の引き合わせ ⑤新たな川下企業候補へのアプローチ ⑥無料相談会

	出精密株式会社 みに工業 (五十音順)				
山梨テクノフェア	エンジニアリングシステム株式会社 株式会社KEC 株式会社小松精機工作所 セラテックジャパン株式会社 株式会社ダイヤ精機製作所 高島産業株式会社 野村ユニソン株式会社 株式会社平出精密株式会社 みに工業 (五十音順)	件数無し	11月19日から の3日間	山梨県甲府市	①川上企業のシーズ紹介 ②川上川下ネットワーク構築事業の紹介、長野県経営支援機構の紹介 ③無料相談会

(6) ジョイント・コーディネーターの配置及び果たした役割について

氏名	所属	専門分野	川上・川下間のシーズとニーズのマッチング及び連携コーディネートの内容等
今井 敏夫	(財)長野県テクノ財団	産学官連携	当ネットワーク構築事業のフォーラムの立ち上げ・運営に積極的に関与し、交流会活動、販路開拓活動、シーズ・ニーズ調査活動の各責任者を支援し、フォーラム全般の活動促進を図る。
大橋 俊夫	インダストリーネットワーク(株)	産学官連携	当ネットワーク構築事業のフォーラムの立ち上げ・運営に積極的に関与し、交流会活動、販路開拓活動、シーズ・ニーズ調査活動の各責任者を支援し、フォーラム全般の活動促進を図る。
小松 大三	(社)長野県経営支援機構	中小企業支援	当ネットワーク構築事業のフォーラムの立ち上げ・運営に積極的に関与し、交流会活動、販路開拓活動、シーズ・ニーズ調査活動の各責任者を支援し、フォーラム全般の活動促進を図る。
山田 有造	(社)長野	中小企業	当ネットワーク構築事業のフォーラムの立ち上げ・運営に積極的に関与し、交流会活動、販路開拓活動、

	県経営支援 機構	支援	シーズ・ニーズ調査活動の各責任者を支援し、フォーラム全般の活動促進を図る。
--	-------------	----	---------------------------------------

3. 本事業の実施結果（成果）及び評価

① 成果

○マッチングにつながる機会の設定回数目標と実績：

実施内容	目標	実績
• 交流会	4回 参加者合計120名	4回 参加者合計117名
• 展示会参加	2回 展示参加企業10社	2回 <ul style="list-style-type: none"> ・ 川上企業のシーズ調査票9社分を希望者に配布 ・ 展示会へ出展7社の川上企業ブースへの川下企業案内（10月）、または製品等の展示希望のあった川上企業製品の展示（11月）
• 工場見学	2回 参加者 延べ40名	2回（11月、12月、見学先3社） 参加者 31名

1) 川上・川下交流会の開催：

川上・川下交流会を4回開催する事を予定し、予定に従い実施した。

	実施の時期	参加者
1	平成21年9月11日	36名（川上15名、川下8名）
2	平成21年10月16日	38名（川上18名、川下10名）
3	平成21年11月20日	21名（川上12名、川下5名）
4	平成22年1月26日	22名（川上8名、川下0）

2) 展示会出展：

2回開催する事を予定し、予定に従い実施した。

	実施の時期	実施状況
1	諏訪工業メッセ出展 平成21年10月15日～ 10月17日	<ul style="list-style-type: none"> ・ 川上企業のシーズ調査票9社分を希望者に配布 ・ 当展示会へ出展中の川上企業ブースへの希望者案内
2	テクノフェア山梨出展 平成21年11月19日～ 11月21日	<ul style="list-style-type: none"> ・ 川上企業のシーズ調査票9社分を希望者に配布 ・ 製品等の展示希望のあった川上企業製品の展示

3) 工場見学：

2回開催する事を予定し、予定に従い実施した。

	実施の時期	見学川下企業	参加者
1	平成 21 年 11 月 20 日	2 社	17 名
2	平成 21 年 12 月 16 日	1 社	14 名



○川下企業からの引き合いと対応状況

- 獲得引き合い件数：11 件（5 件継続中、1 件受注、5 件失注）
- 引き合い金額：4 万円／件（受注）から、2 千万円程度／年（検討中）

② 評価

今回実施した事業は更に工夫すべき点はあるが、上述の成果を上げることが出来た、下記のような参加者の意見を見ても、大変有効なものであった。

○参加者の主な意見

- 川下企業
 - 情報収集の機会として、たいへん良い内容・方法。
 - 各担当者が承知しているシーズとその入手源には限りがある。ニーズとシーズの接点を模索する活動を、第三者的に行う事に意義ある。
 - 大企業の縦割り組織でより多くのニーズを把握する点が難しい。当事業においてその点に何処まで踏み込めるか期待する。
 - 川上企業様のシーズと川下企業のニーズの的中率をいかに上げるか更なる工夫を希望する。
- 川上企業
 - 発想、企画は良いのでぜひ企画継続してもらいたい。（大勢の声）
 - 川下企業の参加企業数を増やして欲しい。
 - 川下企業の技術者との接触が出来て良かった。
 - 川上企業同士のコラボレーションが実現すれば、川下企業の興味を引く大きな武器になる。

4. 連携プロジェクトへのアプローチについて

連携プロジェクト名	対象分野	今後のアプローチ	参加企業数	
			川上企業	川下企業
件数無し				

(その他アプローチについて)

対象分野	今後のアプローチ	参加企業数	
		川上企業	川下企業
件数無し			

5. その他

相談内容 (展示会場で受け付けたもの)	回答実績
● 農産物加工の事業化	➤ 農商工連携の案件として支援方法について相談者に提案を行った。また、当構内でフォロー担当者を設定している。
● クリーンエネルギー活用の製品開発	➤ 相談のあった時点で相談者に助言を行っている。
● 加工業者の紹介について	➤ 同上
● 生ゴミ処理機開発	➤ 同上

6. 今後の取組み方針

次の点に留意しながら、効果的なマッチングの在り方を更に探求したい。

1. 川上、川下の意識共有

川上、川下企業に技術提携・企業連携する意思があることの確認 (単なるサロンの情報収集ための参加でないこと)

2. コーディネータによる川上、川下企業の事前調査・情報収集力

川下のニーズをかみ砕いてわかりやすく川上に伝えることが必要

企業は既存の取引関係など狭い視野で発想しがち、プロデューサー的な広く柔軟な視点で組織間を結びつける力が必要

3. 課題共有可能な支援機関関係者による情報交換

様々な支援機関や地方公共団体で働く、コーディネーター、アドバイザー等との情報交換の場も必要